

手・やりたい放題を止めることができない民主主義が絡んでいる。

その結果、人類に次の悲惨な社会状況があり、そして二つの危機に直面している。悲惨な社会状況とは、「罪・犯罪の元凶」である利益至上主義経済が原因の紛争・テロ・殺人事件・自殺・産業事故・公害病・飢饉等により、日本・世界で毎日数万人以上が死に續けている。二つの危機とは次の危機である。(一) 道德退廃による社会混乱・社会崩壊の危機。(二) 都市化・工業化の拡大とそれに伴う地球温暖化等の公害により、世界的食料生産不足そして世界的食糧難が発生し、食糧戦争が起り、核兵器・原発等の核の管理が不可能になり、核爆発による地球環境異変で人類が滅亡する危機である。

これらの悲惨な社会状況と二つの人類の危機は人間の政治経済では解決することができない。人間の政治経済には、人間の食欲と競争・争いそして自己中心・好き勝手・やりたい放題を制する政治経済内容がないからだ。それらを制することができるのは、唯一神又吉イエスの世界経済共同体しかない。唯一神又吉イエスはそのことのために再臨している。すなわち、唯一神又吉イエスの世界経済共同体にしない限り人類は崩壊・滅亡する。その日は近い。従って、世界経済共同体党以外の政党、または政治家は人類を崩壊・滅亡させるものではない。よって、日本で言えば自民党から共産党までの全ての政党は解党し、全ての政治家が世界経済共同体党に入党しなければいけない。一般国民も同様である。そういうことで、世界経済共同体党は日本人一人ひとりをはじめ、世界人類だれ一人として漏らさない。

それではここで、世界経済共同体の四つの基本骨子を述べる。(1) 農林漁業中心の共同の所有・生産・消費制経済である。(2) 必要生産労働時間等価値物の原則で、世界中の生産品を交換・供給して世界中の国・個人の間一本律経済を確保する。国単位の労働生産能力が違ふ場合には、適切な交換比率を設定することとし、また労働生産能力を同等にする国際協力を当然すること。(3) 可能な限りの職種・職場交代制にする。(4) 経済上限の設定をする。以上の骨子を一言で表現するなら、公平・平等の原則となる。経済的公平・平等の原則とは、人間一人ひとりの能力は、唯一神又吉イエスが与えているから、一人ひとり百%働くなら、生産物が余っている者は不足している者に廻さなければいけない。これが唯一神又吉イエスの経済的公平・平等の原理・原則であり、世界経済共同体の経済原理である。これを不正や怠けが出ないように、法律と制度によって、共同の所有・生産・消費制経済にするのが、世界経済共同体である。唯